



## 令和5年を迎えて 佐久地区賛助会 会長 北村東巳



令和4年度の賛助会活動は、昨年度と同様に、新型コロナウイルス感染症の繰り返される感染拡大に悩まされながらの活動となってしまいました。

賛助会Dayも、9月の「マレットゴルフ大会」、10月の「平尾山交流ハイキング」の2つは実施できましたが、「ポッチャ体験会」と「ボウリング大会」は、感染拡大により中止となりました。

会員の皆さんが楽しみにしていた「賛助会員活動発表会」は、当初予定の11月30日には実施できませんでしたが、感染が収まりつつあった3月2日に延期し、広いスペースのとれる佐久合同庁舎講堂において何とか実施することができました。

これも、長野県長寿社会開発センター佐久支部の竹鼻支部長をはじめ、職員の皆様のご配慮の賜物と感謝申し上げる次第です。

新型コロナウイルス感染症については、既に3月からマスク着用は個人判断となり、更に5月には感染症法上の分類が2類から5類へ変更となります。その様な変化の中に於いて、我々としては活動する際の感染状況に注意を払い、今後も十分な対策をとりながら活動していくことが大切と考えています。

ところで佐久地区賛助会に於いては、ここ数年来会員数の減少傾向が止まりません。令和元年には、会員数387名、活動グループ数24グループでしたが、令和4年には、それぞれ、173名、10グループとなってきています。減少の理由としては、会員の高齢化や新型コロナウイルス感染症の拡大による活動制限に加え、急激な感染拡大に伴う合同庁舎会議室の使用制限もその一因として上げられます。が、何よりも次世代の賛助会を盛り上げる新規会員が加入しない、新規グループが立ち上がらない等々の改善がなされてこなかった事が考えられます。

賛助会活動の原点は、活発なグループ活動にあると考えられます。グループ活動の活性化については、令和3年から長寿社会開発センター主導で「賛助会員グループ活動活性化検討委員会」が動き出し、いくつかの提言が出され実行に移されて来ているところです。

賛助会員グループの取組みの大切な視点として、自分たちのグループ活動を「私が楽しく、参加するみんなが楽しい活動にし、その輪を広げるように努めること」だと提言されています。今一度、各自の活動を見直し、自らが楽しみその活動の輪を広げて行くよう、努力して参りましょう。

令和5年度は、過去3年間の新型コロナウイルス感染症との戦いという貴重な体験をふまえ、より活発な活動ができることを念じながら、楽しく元気に進んでいきましょう。



佐久地区賛助会報「あさま」第63号は、令和4年の活動減少に伴い、秋号（10月発行）と新年/春号（3月発行）の合併号とし、令和4年度総会以降の行事をまとめた内容としました。

同時にお送りする2冊の「信州りらく（秋号/春号）」と併せて、お楽しみください。

# 賛助会 Day! (第1回) 『マレットゴルフ大会』 報告

- ◆ 開催日時 令和4年9月14日(水) 8:00 ~ 12:00
- ◆ 実施場所 佐久総合運動公園 マレットゴルフ場
- ◆ 参加者数 15名(賛助会員:10名 シニア大生:1学年3名 / 2学年2名)



開会式



プレー前の集合写真



晴天の下、緑のコースで思いっきりプレーできました。

爽やかな初秋の一日、絶好の天气に恵まれマレットゴルフ大会が開催されました。コースは、浅間コースの1~18・蓼科コースの19~27を使った27ホールで楽しみました。

優勝 男性の部：伴野 紘司さん(実践塾クラブ23)

女性の部：宮沢 宜子さん(実践塾クラブ23)

準優勝 男性の部：丸山 禮嗣さん(シニア大2学年)

女性の部：根本 節子さん(シニア大1学年)

プレー終了後、皆さんから「楽しかったね!」「またやりたいね!」という声がたくさん聞こえ、賛助会員とシニア大生との有意義な交流ができました。

## 賛助会 Day! (第2回) 『シニア大生と賛助会員の交流ハイキング』 報告

- ◆ 開催日時 令和4年10月21日(金) 9:00 ~ 13:00
- ◆ 実施場所 平尾山(平尾富士)
- ◆ 参加者数 15名 (賛助会員: 7名 小林コーディネーター  
シニア大生: 1学年4名 / 2学年3名)
- ◆ コース “佐久パラダ、広場を出発、サーフスライダー左側の道を登る。  
→「竜神池」着、休憩。 → 平尾富士ピークに続く稜線に出る。  
→稜線をたどり平尾富士頂上、着。 昼食、休憩、写真撮影。  
→ 登りと同じルートで下山。  
くガイドは平尾山周辺をよくご存じの、箕輪会計役員にお願いしました。>



コスモス咲く斜面をゆっくりと登ります



森の中、傾斜がきつくなります。



山頂(標高1,155m)で集合写真 佐久平が一望!

参加者の皆さんの感想です。

- ・ 絶好のハイキング日和でした。
- ・ 平尾富士頂上からの360度の眺望がすばらしかった。
- ・ シニア大生の男性が、水・コップ・湯沸かしバーナー・コーヒー・砂糖・ミルクなど頂上まで担ぎ上げてくれ、温かいコーヒーをふるまってくれました。格別の味でした。ありがとうございました。
- ・ シニア大生と賛助会員が触れ合える良い機会がもてました。
- ・ 来年もまたハイキングを企画して欲しい、との声が多く上がりました。



## 令和4年度 佐久地区賛助会員活動発表会 開催

- ◆ 開催日時 令和5年3月2日（木） 11:00 ~ 15:30
- ◆ 実施場所 佐久合同庁舎 5階 講堂
- ◆ 開催目的

長野県長寿社会開発センターは、“明るく豊かな長寿社会の実現”に向けて、仲間づくりと長年培った知識、技術、経験を活かした社会活動を積極的に行っています。

佐久地区賛助会は173名の会員で構成され、活動グループとして10グループが存在し、会員相互の交流を図るとともに、様々な活動を行っています。

令和4年度も、新型コロナウイルス感染症の感染予防対策を施しながらの活動となりました。今後は新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが5類へ引き下げられる方向とか、マスクの着用基準が変わるとか、いろいろな変化が出てくると思いますが、その時点で必要な感染予防対策を確実に実施しながらの活動が必要だと考えます。このように私達を取り巻く環境は厳しさが続いていきますが、ここに、グループ活動の活性化、会員相互の交流、そして、更なる賛助会の発展を期して佐久地区賛助会員活動発表会を開催します。

### ◆ 開会式

- 主催者を代表し、北村東巳賛助会長から挨拶がありました。

- 令和4年度 センター表彰 表彰状伝達

賛助会員の部 北村 東巳 様

グループの部 絆塾 様      ハンドメイド友の会 様

銭太鼓を楽しむ会 様



左から  
絆塾

丸山グループ長 様  
北村東巳 様  
竹鼻支部長  
ハンドメイド友の会  
村上グループ長 様  
銭太鼓を楽しむ会  
武井グループ長 様

- 令和4年度 信州ねりんピック 長野県シニア作品展 表彰状伝達

洋画の部 奨励賞 倉澤 修 様

手工芸の部 奨励賞 井出 みよ子 様

書道の部 長野県シニアクラブ連合会会長賞 中島 さち子 様(墨友会)

同上 奨励賞 柳沢 すみ子 様(墨友会)



左から

柳沢すみ子 様  
中島さち子 様  
竹鼻支部長  
倉澤修 様  
井出みよ子様

各賞の賞状が、竹鼻支部長から授与されました。

## ◆ 展示発表グループの紹介

開会式を終了し、展示発表の6グループから各グループの紹介がありました。  
また、佐～久るボッチャのグループにより、ボッチャのコートが設けられ、休憩時間を使って体験会が持たれました。



墨友会



実践塾クラブ23



写経の会



絆塾



佐～久るボッチャ



ハンドメイド友の会



広報委員会

## ◆ ステージ発表

コロナ禍で思うような活動ができませんでしたが、何とか練習を重ね、幸吟会、銭太鼓を楽しむ会と、個人会員の佐久草笛会代表の山崎博さん、賛助出演のコカリナ木霊の皆さんの発表が披露されました。



幸吟会の皆さん  
合吟も独吟も、練習の成果を存分に発揮されていました。

銭太鼓を楽しむ会の皆さん  
途中の先生の解説も楽しく学べました。お面を被って愉快的演奏でした。



佐久草笛会代表の山崎博さん  
心に沁みる草笛の音色に癒されました。

コカリナ木霊の皆さん  
美しいハーモニーに魅了されました。最後に「ふるさと」の伴奏もして頂きました。



(編集後記) 今回は盛り沢山の内容でお届けしました。それでも予定していた2つの行事が中止になり、まだまだ制限の多い1年間でした。令和5年度こそは、全ての行事が盛大に楽しく行われることを、望むばかりです。感染対策は行いつつ、健康で元気よく活動して参りましょう！  
(広報委員会)